

令和4年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

施設名:大阪府立少年自然の家

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目 (3)利用者の増加・サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①日帰り・宿泊合計の年間利用者数	冬季については利用者数が少ないとのことだが、様々な経費もかかっているため利用者数を増やす方が良い。冬季の利用者数を増やすための方策を検討してはどうか。	コロナ禍以前に増加しつつあった、冬季における外国からの団体利用を、再度促進するよう指定管理者に求める。	営業担当者が旅行会社を中心に計画的に営業活動を行うことにより、インバウンド受け入れの誘致につなげる。
		スポーツ団体等、青少年団体の利用を維持・促進していくために、関係各所との連携を継続していただきたい。	これまでの利用の有無に関わらず、様々な青少年団体に施設の情報が届くよう、関係各所への周知方法について検討するよう指定管理者へ求める。	SNS有料サービスを利用して、対象の団体をピックアップすることで新規団体へ周知を行う。